



第93回 2025(令和7)年度

全国盲学校弁論大会 全国大会

プログラム

●日時：2025(令和7)年10月3日(金) 9時00分～13時30分

●会場：岐阜県立岐阜盲学校体育館

岐阜市北野町70-1
電話 058-262-1255

主催／全国盲学校長会
毎日新聞社点字毎日
毎日新聞東京・大阪・西部社会事業団

後援／文部科学省
岐阜県教育委員会
NHK
日本点字図書館
日本ライトハウス
全国盲学校PTA連合会
(順不同)

主管校／岐阜県立岐阜盲学校

協賛／一般財団法人安全交通試験研究センター
日本ライトハウス
(順不同)

特別協賛／住友グループ広報委員会 公文教育研究会

本事業は、一般社団法人授業目的公衆送信補償金等管理協会 (SARTRAS) の共通目的基金の助成を受け実施されています。

第93回全国盲学校弁論大会全国大会

開 会 式

開 会

開会の言葉

あいさつ

来賓祝辞

来賓及び審査員紹介

弁 論 規 定

弁 論

講 話

閉 会 式

講評と成績発表

特 別 講 評

表 彰 式

閉 会 の 言 葉

閉 会

9:00

濱井 良文

安田 咲登子

兒玉 哲也

松岡 しおり様

阿部 剛嗣様

毎日新聞社点字毎日編集長
全国盲学校長会会長(東京都立文京盲学校校長)
岐阜県立岐阜盲学校 校長

文部科学省初等中等教育局 特別支援教育課
特別支援教育調査官
住友グループ広報委員会事務局長
(住友商事株式会社 広報部長)

全国7地区代表9弁士
(関東・甲信越、開催地の中部地区から各2人)

タレント・和太鼓師範・NHKラジオパーソナリティ 富田 安紀子様

審査員長 明治大学、日本社会事業大学講師 堀越 喜晴様
フリーアナウンサー 草野 満代様

優勝 文部科学大臣優勝旗 点字毎日杯 点字毎日盾
毎日新聞社会事業団杯 日本点字図書館杯 住友グループ杯

準優勝 点字毎日盾

第3位 点字毎日盾

特別賞 日本ライトハウス盾

優秀賞 全国盲学校長会会長賞 住友グループ個人賞

記念品 公文教育研究会

毎日新聞社点字毎日編集長 濱井 良文

13:30

全国盲学校弁論大会優勝校・優勝者一覧 第 1 回～46回			
第 1 回(S 3 年)	大 分 県 立 盲 啞 学 校	二 宮 義 雄	特殊教育の充実と盲人の使命
第 2 回(4 年)	大 阪 市 立 盲 学 校	森 田 正 一	順風をはらんで神に祈る
第 3 回(5 年)	山口県立下関盲啞学校	渡 辺 雅 美	開拓者の精神
第 4 回(6 年)	和歌山県立盲啞学校	山 根 木 正 嗣	吾人の誓い
第 5 回(7 年)	東 京 盲 人 技 術 学 校	熊 谷 善 一	光は闇の中に輝く
第 6 回(8 年)	大 阪 府 立 盲 学 校	田 村 次 郎	うんとやりましょう諸共に
第 7 回(9 年)	熊 本 県 立 盲 学 校	中 島 之 典	私の信念
第 8 回(10年)	京 都 府 立 盲 学 校	西 崎 清	あきらめの彼方へ
第 9 回(11年)	和歌山県立盲啞学校	松 本 富 穂	退いて無名の英雄たれ
第10回(12年)	大 阪 府 立 盲 学 校	丹 下 薫	二つの信条
第11回(13年)	新潟県立新潟盲学校	奥 住 勇	種を蒔く人
第12回(14年)	東 京 同 愛 盲 学 校	樋 口 鶴 男	二つの潮流
第13回(15年)	広 島 県 立 盲 学 校	吉 沢 茂	世界一の果報者
第14回(16年)	和歌山県立盲啞学校	成 田 周 三	真実の世界を求めて
第15回(17年)	兵 庫 県 立 盲 学 校	粟 井 禮 次	武器なき闘い
第16回(18年)	岡 山 県 立 盲 啞 学 校	山 田 典 子	日本の腰を強めましょう
第17回(22年)	奈 良 県 立 盲 啞 学 校	西 田 和 恵	盲女性の要望
第18回(23年)	静岡県立静岡盲学校	井 村 淳 一 郎	母性愛にこたえて
第19回(24年)	石 川 県 立 盲 学 校	宮 沢 秀 明	新しい母
第20回(25年)	愛知県立名古屋盲学校	花 井 久 子	愛の盲女子ホーム建設
第21回(26年)	京 都 府 立 盲 学 校	白 畠 庸	点字書籍を増やすには
第22回(27年)	大 阪 府 立 盲 学 校	近 藤 敏 郎	プライユにこたえて
第23回(28年)	大 阪 府 立 盲 学 校	津 野 幸 治	偽るなかれ
第24回(29年)	広 島 県 立 盲 学 校	藤 正 坂 二	平和のともしび
第25回(30年)	大 分 県 立 盲 学 校	中 村 茂	存在への勇氣
第26回(31年)	石 川 県 立 盲 学 校	宮 村 健 二	友情箱
第27回(32年)	大 阪 府 立 盲 学 校	小 坂 吉 明	小さな革命
第28回(33年)	兵 庫 県 立 盲 学 校	竹 本 春 子	イソップ物語に学ぶ
第29回(35年)	新潟県立高田盲学校	太 刀 川 武	平凡なる非凡
第30回(36年)	岡山県立岡山盲学校	佐 川 澄 子	青い小鳥を自己の手で
第31回(37年)	新潟県立高田盲学校	古 川 正 雄	信和寮と私
第32回(38年)	新潟県立高田盲学校	信 保 明 子	小さな勇氣
第33回(39年)	愛知県立豊橋盲学校	水 谷 嘉 子	友情に生きたい
第34回(40年)	大 阪 府 立 盲 学 校	岩 井 和 彦	理解されない盲人
第35回(41年)	徳島県立徳島盲学校	松 尾 素 子	再び歩み始める
第36回(42年)	新潟県立高田盲学校	野 沢 信 子	盲学校という名に耐えて
第37回(43年)	大 阪 市 立 盲 学 校	亀 甲 孝 一	点字制定記念日に思う
第38回(44年)	和歌山県立和歌山盲学校	森 本 和 秀	可能性への挑戦
第39回(45年)	大 阪 府 立 盲 学 校	戸 田 繁	奉仕と感謝
第40回(46年)	高 知 県 立 盲 学 校	小 松 俊 子	ある感動
第41回(47年)	大 阪 市 立 盲 学 校	渡 辺 昭 一	教育と職業の保障を
第42回(48年)	香 川 県 立 盲 学 校	川 田 隆 一	希望に燃えて
第43回(49年)	静岡県立浜松盲学校	田 中 那 の め	夢からの第一歩
第44回(50年)	岩 手 県 立 盲 学 校	佐 々 木 実	人間復活
第45回(51年)	鹿児島県立鹿児島盲学校	脇 園 寿 子	前を向いて生きよう
第46回(52年)	大 阪 市 立 盲 学 校	碓 久 修	科学技術時代に思う

全国盲学校弁論大会優勝校・優勝者一覧 第47回～92回			
第47回(53年)	山 口 県 立 盲 学 校	舩 井 さ つ き	ペルーから日本へ
第48回(54年)	熊 本 県 立 盲 学 校	山 崎 浩 三	病気との闘い
第49回(55年)	大 阪 府 立 盲 学 校	田 中 康 弘	甘えを捨てて
第50回(56年)	愛媛県立松山盲学校	豊 田 初 江	杖
第51回(57年)	大 阪 府 立 盲 学 校	尾 鼻 達 朗	あと一步
第52回(58年)	福岡県立福岡盲学校	田 端 里 美	私の見つけた青い鳥
第53回(59年)	静岡県立浜松盲学校	藤 田 寿 美	出会いということ
第54回(60年)	三 重 県 立 盲 学 校	平 井 正 信	今、新しい人生が
第55回(61年)	兵 庫 県 立 盲 学 校	蒲 生 明 美	はばたく私の青春
第56回(62年)	大 阪 府 立 盲 学 校	小 林 一 尚	心
第57回(63年)	大 阪 市 立 盲 学 校	山 本 真 弓	あなたのバーを今少し高く
第58回(H 元 年)	青 森 県 立 盲 学 校	沢 田 彰 郎	小さな社会から
第59回(2 年)	北海道高等盲学校	渡 部 菜 子	心から心へ
第60回(3 年)	熊 本 県 立 盲 学 校	嶽 野 寛 子	「看護婦さん」っていいなあ
第61回(4 年)	宮 城 県 立 盲 学 校	浅 野 目 誠	かけがえのない自分を見つめて
第62回(5 年)	筑波大学附属盲学校	南 沢 創	釣堀とともに
第63回(6 年)	福岡県立柳河盲学校	籾 内 智 佳 子	日の光 色に見ずとも
第64回(7 年)	福 井 県 立 盲 学 校	前 田 智 洋	未知の世界への挑戦
第65回(8 年)	東京都立八王子盲学校	北 葉 子	私が大好き
第66回(9 年)	福岡県立柳河盲学校	原 田 淳 一	川に流したもの
第67回(10年)	北海道高等盲学校	花 尻 真 由 美	ボランティア
第68回(11年)	福岡県立福岡盲学校	井 上 美 由 紀	母の涙
第69回(12年)	富 山 県 立 盲 学 校	島 崎 真 美	コーラス
第70回(13年)	神 戸 市 立 盲 学 校	荒 木 温 子	ずっと一緒だよ
第71回(14年)	福岡県立福岡高等盲学校	清 水 蔵 隆	心のハンディキャップ
第72回(15年)	神 戸 市 立 盲 学 校	荒 木 温 子	私の表情
第73回(16年)	静岡県立静岡盲学校	守 屋 剛	黒電話
第74回(17年)	北海道札幌盲学校	柴 田 裕 里	犬の耳が欲しい
第75回(18年)	岡山県立岡山盲学校	竹 本 登 久 子	悔いのない今日を生きる
第76回(19年)	大 阪 市 立 盲 学 校	三 ツ 井 直 樹	働く喜び 実らせて
第77回(20年)	福 島 県 立 盲 学 校	鈴 木 祐 花	踏み出す
第78回(21年)	筑波大学附属視覚特別支援学校	ファン・パン・ソン	僕に続く後輩たちのために
第79回(22年)	奈 良 県 立 盲 学 校	川 添 愛	空へ
第80回(23年)	和歌山県立和歌山盲学校	中 麻	世界にひとつの宝物
第81回(24年)	愛媛県立松山盲学校	富 永 広 幸	私と家族
第82回(25年)	茨 城 県 立 盲 学 校	山 口 凌 河	笑顔
第83回(26年)	福岡県立福岡高等視覚特別支援学校	柿 野 明 里	守りたい
第84回(27年)	福 島 県 立 盲 学 校	渡 邊 健	光り輝くあの月へ
第85回(28年)	福 井 県 立 盲 学 校	松 田 え り か	私は回遊魚
第86回(29年)	静岡県立浜松視覚特別支援学校	望 月 達 哉	Ame(あめ)
第87回(30年)	大阪府立大阪南視覚支援学校	阿 部 亮 介	視覚障がい者だから
第88回(R 元 年)	福島県立視覚支援学校	常 松 桜	シロウサギ
第89回(3 年)	岐阜県立岐阜盲学校	古 田 桃 香	一步ずつ前へ
第90回(4 年)	神 戸 市 立 盲 学 校	浅 井 花 音	母が教えてくれたこと
第91回(5 年)	大阪府立大阪南視覚支援学校	酒 井 響 希	無意識の壁
第92回(6 年)	埼玉県立特別支援学校塙保一学園	カンファティマ・フランソワ	大切な場所

弁論

主管地区優秀弁論

「私が大切にしたいもの」

愛知県立名古屋盲学校 高等部普通科2年

菊池 優花 (17)

1. 九州地区代表

「言葉の力」

長崎県立盲学校 高等部普通科1年

濱田 結那 (15)

2. 関東・甲信越地区代表

「本当の友達」

千葉県立千葉盲学校 高等部普通科2年

鈴木 華凜 (17)

3. 中部地区代表

「ことば」

静岡県立浜松視覚特別支援学校 中学部2年

鈴木 真尋 (14)

4. 中国・四国地区代表

「私の一部」

岡山県立岡山盲学校 高等部普通科2年

西森 冬花 (16)

5. 東北地区代表

「想いを込めて」

青森県立八戸盲学校 中学部1年

三浦 咲十郎 (12)

6. 中部地区代表

「YUME」

岐阜県立岐阜盲学校 高等部専攻科理療科1年

花村 彩乃 (18)

7. 関東・甲信越地区代表

「普通と違う私の話」

埼玉県立特別支援学校埴保己一学園 高等部普通科2年

塚本 桃果 (16)

8. 北海道地区代表

「居場所・出会い・そして芽生えた私の思い」

北海道札幌視覚支援学校 中学部3年

川上 心愛 (14)

9. 近畿地区代表

「見えなくなって、より見えてきたこと」

和歌山県立和歌山盲学校 高等部専攻科理療科2年

稲川 祐司 (36)

審査員 (敬称略、順不同)

〈審査員長〉

明治大学、日本社会事業大学講師

堀越 喜晴

岐阜県教育委員会 特別支援教育課長

服部 秀明

NHK コンテンツ制作局 第1制作センター(福祉)

西田 周平

チーフ・ディレクター

毎日新聞社 大阪編集担当局長

長谷川 豊

住友グループ広報委員会

加藤 貴大

(株式会社三井住友銀行 広報部)

〈特別審査員〉

フリーアナウンサー

草野 満代



週刊新聞「点字毎日」ご案内

「点字毎日」は、毎日新聞社が視覚障害者向けのニュースを独自に取材・編集する週刊新聞です。創刊は1922(大正11)年。各種メディアで発行しています。

「点字版」A4判60㌫、購読料1年(50回) 20,000円(非課税)
「活字版」タブロイド判12㌫、購読料1年(50回) 13,094円(送料込み)
「音声版」CD1枚(180分)、購読料1年(25回※2週分) 31,428円(送料込み)

お申し込み・お問い合わせは点字毎日購読係
(電話 06・6346・8388、ファクス 06・6346・8385、
メール tenmai@mainichi.co.jp)まで。

特別審査員

フリーアナウンサー 草野 満代

岐阜県中津川市出身。津田塾大学卒業後、1989年NHK入局。「おはよう日本」「サンデースポーツ・サタデースポーツ」キャスター、リレハンメルオリンピック開会式実況中継、アトランタオリンピック現地キャスター、「紅白歌合戦」総合司会などを担当。97年に独立後フリー。「筑紫哲也ニュース23」キャスターなど歴任。

現在は、オンワードホールディングス社外監査役、岐阜信用金庫員外監事、公益社団法人2027年国際園芸博覧会協会理事、一般社団法人人文知応援フォーラム理事、日本AED財団評議員などを務める。



講話

タレント・和太鼓師範・NHKラジオパーソナリティ 富田 安紀子

岐阜県大垣市出身。幼いころに目の病気を発症し、その後左目を失明。中部学院大学短期大学部幼児教育学科を卒業後、介護を専門的に学ぶために同短期大学部専攻科福祉学科へ進学し、介護福祉士の資格を取得。その後、特別養護老人ホームに9年間勤務。4歳から始めた和太鼓では「山代流鶴輝丸会」師範資格を持つ。ステージなどでの演奏活動も多数行っており、東京2020パラリンピック競技大会の開会式では、パフォーマンスメンバーとして出演。ファッションモデルとしても活躍し、24年9月パリ・コレクションでランウェーを歩く。

現在は和太鼓師範、NHK視覚障害ナビ・ラジオ「リンク・スクエア」レギュラーパーソナリティ、ファッションモデルなど幅広く活躍している。



皆様のご健闘をお祈りします。

それぞれの学校や地区の弁論大会を経て、晴れてこの大会に臨まれるみなさんです。心おきなく磨きに磨かれた弁論を発表されますようお祈りします。日本ライトハウスの創立者岩橋武夫は、声はよくなかったようですが、その内容は聞く人の心に語りかけるという点で高く評価されたそうです。会場に皆さんの若い主張を高らかに響かせて下さい。

社会福祉法人日本ライトハウス

理事長 橋本 照夫

視覚障害リハビリテーションセンター
盲導犬訓練所
情報文化センター
点字情報技術センター

法人本部 大阪市鶴見区今津中2-4-37
TEL (06)6961-5521 FAX (06)6968-2059
E-mail info@lighthouse.or.jp
URL https://www.lighthouse.or.jp/



ヘレン・ケラー女史と
岩橋武夫 (1937)

祝 全国盲学校弁論大会



1967(S42).3.18 敷設第1号

—— 点字ブロックのパイオニア ——



一般財団法人

安全交通試験研究センター

TRAFFIC SAFETY RESEARCH CENTER, INC.

〒700-0024 岡山市北区駅元町15番1号 (リットシティビル 7F)

TEL.086-252-1212(代表) FAX.086-252-1213

http://www.tsrc.or.jp/